

K I T A  A K I T A

住民が主役の “もり”のまち

～ぬくもり、見まもりで地域をもり上げる～

第2次北秋田市総合計画



将来都市像 /

住民が主役の “もり”のまち

北秋田市は、『森』吉山を始めとする自然資源の豊かな地域です。

また、市内全域が積雪寒冷地域および豪雪地帯に指定されるほど、雪が積『もる』市でもあります。

私たちは、森吉山や雪等の自然資源を最大限に活かしながら、

住民相互のめく『もり』や見ま『もり』を大事にし、地域全体を『もり』上げることを目指します。

この達成に向けて、「自然資源を活かして、自然と上手く暮らし、活用すること」

そして、「市民交流を進め、地域の支えあい及び賑わいを創出すること」

の2つを重点的に取り組んでいきます。

基本理念

健康でしごとにはげむ 活力のあるまちづくり
お互いが尊敬し支えあう 明るいまちづくり
命のたいせつさを学び文化をはぐくむ 豊かなまちづくり
自然を愛し環境をととのえる 美しいまちづくり
みんなで力をあわせる 住みよいまちづくり

目標人口

少子高齢化に歯止めをかけ 雇用・住宅・子育て支援を実現させるために

本市は、平成17年3月に4町が合併し「北秋田市」として誕生しましたが、全国的な少子高齢化による人口構造の変化や、人口の減少が続いています(H17 40,989人→H27 34,533人)。

また、65歳以上の高齢化率が36.4%となり、秋田県平均の29.6%を大きく上回る一方で、年少人口と生産年齢人口の減少率が大きく、少子高齢化の進行が顕著となっています。このため、雇用・住宅・子育て支援等の定住促進の課題に対応し、人口減少の抑制を目指します。

目標年度	推計人口	目標人口
平成32年 (2020年)	29,765人	29,956人
平成37年 (2025年)	26,686人	27,018人

住民が主役の“もり”のまち

～ぬくもり、見まもりで地域をもり上げる～

健康・産業分野

1

健康で
しごとにはげむ
活力のある
まちづくり

- ① 地域医療の充実
- ② 健康づくりの推進
- ③ 農業・畜産業の振興
- ④ 林業の振興
- ⑤ 商業の振興
- ⑥ 観光・レクリエーションの振興
- ⑦ 工業の振興

福祉分野

2

お互いが
尊敬し支えあ
るまちづくり

- ① 障がい者福祉の充実
- ② 高齢者福祉の充実
- ③ 地域コミュニティの推進・地域自治の体制確立

子育て・教育分野

3

命の
たいせつさを学
び文化をはぐく
む豊かな
まちづくり

- ① 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
- ② 学校教育の充実
- ③ 生涯学習の充実
- ④ 芸術・文化の継承と振興
- ⑤ スポーツの振興

環境・都市基盤分野

4

自然を愛し
環境をととのえ
る美しい
まちづくり

- ① ごみの減量化と適正な処理
- ② 地球温暖化対策の推進
- ③ 道路網の充実
- ④ 住環境の整備
- ⑤ 雪対策の充実
- ⑥ 下水道等の整備
- ⑦ 公共交通の維持・確保
- ⑧ 上水道・簡易水道の整備

市民生活（安全・安心等）
・行財政分野

5

みんな
力をあわせる
住みよ
いまち
づくり

- ① 地域防災体制の充実
- ② 消防・救急体制の充実
- ③ 交通安全の推進・防犯体制の強化
- ④ 消費者保護の推進
- ⑤ 男女共同参画社会の実現
- ⑥ 移住定住の促進
- ⑦ 行財政改革の推進

重点プロジェクト



雇用創出のための産業振興

農林業の担い手支援や、地域資源を活かした商品の開発と販路拡大（商業）、まるごと森吉山観光振興プロジェクトと合わせた伊勢堂岱遺跡等の世界遺産登録（観光）、企業誘致や既存事業所の拡大支援（工業）などを行なっています。



移住・定住対策

移住の円滑化のために移住についての窓口を一本化し、奨励制度を設けていきます。さらに、移住者間でのネットワークづくりも進めていきます。また、大学進学・就職で本市を離れる中高生に向け、市内就職及びUターンを意識を高めるための情報提供に努めます。



少子化対策

若い年齢からの啓発や結婚に向けた支援、不妊治療に対する助成等を行っていきます。また、安心して出産・子育てができるよう子育てに係る負担の軽減や不安の解消に向けた支援を行い、地域や社会全体で子育てを支えていく環境を整えていきます。また、女性の社会進出を進め・支えるよう、市政に関連する女性の参画並びに登用を進めます。



新たな地域社会の形成

自主防災組織の立ち上げ・強化や高齢者・障がい者等への地域支援組織の立ち上げ、集落の自立活性化の取組（元気ムラ）等を通じて地域活動を推進していきます。また、雪対策として地域との連携による除雪を行う他、冬期居住の検討や高齢者・障がい者へ除排雪支援を進めます。

健康でしごとにはげむ 活力のあるまちづくり



仕 事を頑張るためには、心身の健康は重要な要素です。市民一人ひとりが自発的に、自分にあわせた健康づくりに取り組み、健康寿命を延伸させることで、生涯を通じて健やかで心豊かに生活することができる体制づくりに努めます。また、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるように、北秋田市民病院を中心とした地域医療連携型医療の確立を目指します。仕事の場の創出については、地域の特性を活かした商工業の振興や滞在型観光の推進を図るとともに、農業については意欲のある担い手を支援することで、経営の安定性、生産性の向上に努めるとともに、農商工連携や地産地消の拡大による農業振興を図ります。

準備中

①-①

地域医療の充実

医師確保に取り組むとともに、在宅医療提供体制の推進を目指します。

準備中

①-⑤

商業の振興

起業支援及び市の特産品開発の推進により、中心市街地における空き店舗対策や地元での消費と市外への販路を拡大します。

準備中

①-②

健康づくりの推進

健診受診率の向上や「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚を図るための心と体の健康相談を充実させます。

準備中

①-⑥

観光・レクリエーションの振興

安の滝や阿仁スキー場の Gondola など森吉山を中心とした滞留型観光の推進を図るとともに関係団体との連携強化のもと、水産資源の活用などに取り組みます。

準備中

①-③

農業・畜産の振興

新規就農者の確保や経営の法人化に向けた支援を行うとともに、農業所得向上に向けた北秋田ブランドの開発を推進します。

準備中

①-⑦

工業の振興

企業誘致や既存企業の拡大支援に努めるとともに雇用奨励制度の充実や雇用ミスマッチを解消するよう努めます。

準備中

①-④

林業の振興

新規就業者の育成や路網の整備などを行うとともに、広大な森林資源の利活用を推進します。

成果指標	現状値 (平成 26 年度)	目標値 (平成 32 年度)
市内の医療体制について整っており満足している市民の割合	56.4%	63%
平均寿命	77.2 歳 (男) [H25] 86.3 歳 (女) [H25]	80.9 歳 (男) 87.7 歳 (女)
農業生産法人	24 法人	30 法人
森林経営計画策定率 ※策定済みの計画面積 / 市全体の森林面積	32.0%	42.0%
中心市街地の新規出店店舗数 (累計)	3 店舗	10 店舗
観光客数	1,245 千人	1,700 千人
地元雇用及び正規雇用者増加者数	15 人	30 人

お互いが尊敬し支えあう 明るいまちづくり



誰

誰もが明るく健やかに暮らすためには、共助としての地域におけるお互いの助けあいと、公助としての福祉施策がバランスよく機能することが重要です。少子高齢化や核家族化の進展などにより地域におけるつながりが希薄になる等社会環境が変化してきたことから、それぞれの地域においてこれまで進められてきた支えあいや助けあいの地域のコミュニティ活動に対する積極的な支援を行い、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域福祉の強化に努めます。

2-① 地域コミュニティの推進・地域自治の体制確立

準備中

各地域の声を聞き、ともに課題解決に取り組みます。

2-② 地域福祉の充実

準備中

地域で支えあう力を高めて、市民の視点から課題を拾い上げ解決につなげていきます。

2-③ 高齢者福祉の充実

準備中

地域包括ケアシステムの構築を進め、予防的な取り組みや在宅医療・介護サービスなどを一体的に提供していきます。

2-④ 障がい者福祉の充実

準備中

グループホームやケアホームの整備を行うとともに、相談支援や移動支援に取り組みます。

成果指標	現状値 (平成 26 年度)	目標値 (平成 32 年度)
地域活動に何か参加している市民の割合	69.2%	75.0%
悩みや不安を相談できる人がいる市民の割合	91.6%	95%
悩みや不安を相談できる人がいないと答えた 60歳以上の市民の割合	6.5%	5%
公共施設バリアフリー率	19.5%	50.0%

命のたいせつさを学び 文化をはぐくむ 豊かなまちづくり



心

豊かな人を育成するため、子どもを安心して生み育てることができる環境を充実させるとともに、未来を担う子どもたちが心豊かでたくましく一人の自立した人間として育つよう特色ある学校づくりを進めます。また、伊勢堂岱遺跡の保護と活用等地域固有の伝統文化を未来へ継承するとともに、芸術文化活動を支援し、生涯を通じて学ぶことができる環境を提供します。さらに、健康の保持・増進を図るための生涯スポーツの普及からスポーツ競技力の向上に至るまで、すべての市民が日常的にスポーツに取り組み、心身ともに健康に暮らせるまちづくりに努めます。

3-① 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実

準備中

結婚・子育てに関する若者への啓発をはじめ、子育てと仕事の両立支援や地域全体で子育てを支える環境づくりを進めます。

3-② 学校教育の充実

準備中

将来を担っていきける若者を育成するためのキャリア教育・ふるさと教育を推進していきます。

3-③ 生涯学習の充実

準備中

(仮称)生涯学習交流施設を拠点とした生涯学習の充実をはじめ地域と協力した地域問題の解決や世代間交流、仲間づくりや生きがいづくりの推進を図ります。

3-④ 芸術・文化の継承と振興

準備中

伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録を目指すとともに、文化芸術活動の支援によって、市指定文化財の保存・継承と地域文化への向上発展を目指します。

3-⑤ スポーツの振興

準備中

老朽化が進むスポーツ施設の適正配置や更新を検討するとともに、市民がスポーツに親しむきっかけづくりやスポーツの底辺拡大と競技力の向上に取り組みます。

成果指標	現状値 (平成 26 年度)	目標値 (平成 32 年度)
子育てしやすいまちだと答えた市民の割合	39.4%	50.0%
学校生活に満足している児童(生徒)の割合	64.0% (小4~6年平均) 59.6% (中1~2年平均)	70.0% (小4~6年平均) 65.0% (中1~2年平均)
知識や教養、趣味等自発的に学習する市民の割合	61.8%	65.0%
祭りや伝統芸能など地域行事に参加したことがある市民の割合	32.0%	32.0%
運動・スポーツを月に数回以上する市民の割合	35.9%	50.0%

自然を愛し環境をととのえる 美しいまちづくり



自 然環境の保全や循環型社会の構築は、現在の私達だけではなく次世代を生きる子ども達にとっても重要です。そのため、本市の恵まれた自然環境を後世に伝えるため 森林・河川環境の保全に努めるとともに、環境問題への対応としてリサイクル体制の 確立と省エネ・再生可能エネルギーの推進に努めます。

また、快適な都市環境を整備するため、公共交通、道路、公園、上下水道などの都市基盤施設の適切な維持管理と機能強化に努めます。

準備中

4-①

ごみの減量化と適正な処理

ゴミの減量化とリサイクル率の向上を図りながら、自然環境保全の活動を支援します。

準備中

4-⑤

雪対策の充実

除雪体制の強化を図るとともにボランティアの活用や地域との連携による除雪支援により冬季間の不安解消に努めます。

準備中

4-②

地球温暖化対策の推進

再生エネルギーへの理解を深め、CO2削減と新エネルギーの導入に取り組んでいきます。

準備中

4-⑥

下水道等の整備

公共下水道の計画的な整備や合併処理浄化槽の整備促進を図るとともに、下水道等における未加入世帯の加入に向けた啓発を行います。

準備中

4-③

道路網の充実

主要な道路の舗装修繕を行い、安心・安全・快適な道路網の環境整備に取り組みます。

準備中

4-⑦

上水道・簡易水道の整備

水道施設の整備に取り組み、安心・安全に使用できる水の安定供給体制を確立していきます。

準備中

4-④

住環境の整備

市営住宅の計画的な建替えや改修等を行うとともに、空き家対策やリフォーム支援に取り組みます。

準備中

4-⑧

公共交通の維持・確保

内陸線や大館能代空港の利用促進を図るとともに、公共交通機関の利便性向上に努め、利用客の拡大につなげます。

成果指標	現状値 (平成 26 年度)	目標値 (平成 32 年度)
家庭系一人当たりのゴミ排出量	257.2kg/ 人 (H25)	251.9kg/ 人
節電や節水など地球温暖化防止につながる取り組みをしている市民の割合	70.4%	75%
市道の舗装率	70.3%	73.0%
住宅耐震化率	63.0%	95.0%
地域除排雪支援団体(仮)の組織数	0 団体	5 団体
水洗化率	61.2%	75.6%
有収率(上水)	80.1%	82.0%
秋田内陸線の乗車人数	316,745 人	360,000 人

みんなで力をあわせる 住みよいまちづくり



住 みよいまちづくりに向けては、行政のみならず家庭・地域・NPO等の協力は不可欠です。地域の身近な場所で安全・安心を支える消防団や自主防災組織などの防災ボランティア団体、市民が主体となった防犯ボランティアや通学路の見守り活動等、地域における防災や防犯などの活動の支援に努め、安全・安心のまちづくりを目指します。

また、行政としても限られた財源・職員を効果的・効率的に活用するとともに、新たな財源確保を図るなど一層の行財政改革を行うことにより、時代のニーズに合った行政経営を推進します。

準備中

5 - ①

地域防災体制の充実

防災意識の向上を促し、自主防災組織結成の促進を図り、緊急時の避難支援体制を整備していきます。

準備中

5 - ⑤

男女共同参画社会の実現

女性のキャリアアップや職場改善に向けた研修機会の確保や事業所への働きかけをしていきます。

準備中

5 - ②

消防・救急体制の充実

消防・救急活動の技能向上や消防団員の確保に努めるとともに、市民の防災意識向上に努めます。

準備中

5 - ⑥

移住定住の促進

北秋田市の認知度を高める他、ワンストップ窓口の設置や移住者間のネットワークづくり、市内中高生に対するUターン意識の向上を図ります。

準備中

5 - ③

交通安全の推進・防犯体制の強化

交通安全・防犯に対する意識の啓発に努めるとともに、カープミラー等の交通安全施設の整備を進めます。

準備中

5 - ⑦

行財政改革の推進

行政運営のスリム化・効率化を進めつつ、市民の理解を深めるための情報提供や意識調査を進めてまいります。

準備中

5 - ④

消費者保護の推進

関係機関と連携して、市民に注意喚起を促すとともに相談体制を充実させます。

成果指標	現状値 (平成 26 年度)	目標値 (平成 32 年度)
災害に備えて何かしら準備をしている市民の割合	50.6%	60.0%
防災メール登録者数	1,737 人	3,500 人
火災警報器未設置の世帯数	7.0%	0%
犯罪件数 (刑法犯認知件数)	68 件 (平成 26 年)	55 件
消費生活に関する講座・研修会参加者数	34 人	50 人
女性就業率	41.4% (平成 22 年国勢調査)	43.4%
行政が窓口となった年間移住者数<単年度> 【A ターン等行政が窓口として関わった人数及び新規奨 学金返還制度利用者数】	2 人	3 世帯 10 人
ホームページの年間アクセス件数 (行財政改革大綱)	380,000 件	532,000 件
何かしら市政情報を得ている市民の割合	95.9%	98%

